

IV めぐるシティカレッジ

1 新しい学習機会の創設

区民の学習活動のニーズが多様化する中で、都立大学が目黒区から八王子市に移転したのを契機に、区民に新たな学習機会を提供できるシステムを構築していこうと、目黒区、都立大学、都立大学附属高校、東京都教育庁の四者が協力して、区民向けの講座「めぐるシティカレッジ」を平成7年に開設しました。

「めぐるシティカレッジ」は、区民の自発的学習意欲に基づく自己実現を支援するための新しい学習機会を提供しようとするものです。単位や資格の取得を目的とするものではなく、生涯学習社会形成の一翼として区民の学習ニーズに対応する、質の高い学習の提供を目指しています。各分野の研究者を講師に招き、学ぶ意欲にあふれた受講生により、毎回熱気にあふれた講座が展開されています。
(開設年度：平成7年度)

2 運営

現在は、任意団体「めぐるシティカレッジ振興会」が運営に当たり、目黒区教育委員会事務局に事務局を置いています。

3 講座内容

令和3年度実施

次のとおり、講座を企画し、開講しました。令和2年度に、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全講座が中止となったことを受け、令和3年度は、初めて前期・後期の二期制（全8講座／各7回ずつ）とし、定員を40名に、会場を目黒区中央町社会教育館にて実施（一部講座は中止、日程変更）しました。

(単位：人)

講座	主な内容等	定員	応募者数	受講者数
1 目黒学パート27 その① -古文書や石碑に書かれた文章に近づき、読み解くスキルの一歩を踏み出す -	目黒に関連する史料を読み解き、現在の目黒の姿と過去の資料を結び付け実像を探る。 令和3年4月～7月（全7回）	40	46	44
2 シンボル・しるし・紋様の世界を探る その①	さまざまなシンボルから、歴史や文化的特徴を学び、アイデンティティー（同一性）を支えてきた奥深い世界を探る。 令和3年4月～7月（全7回）	40	37	32
3 言葉って、楽しい、そして深く、重い その①	言語学、民俗学、歴史学などの学問的知見を背景に、言葉のもつ楽しさ、深さ、重みにアプローチする。 令和3年4月～7月（全7回）	40	34	30
4 見て回る 江戸・東京 その①	江戸時代以降の歴史・地理的な事象と背景を学び、現地のフィールドワークにより学習を深める。 令和3年4月～7月（全7回）	40	58	54
前期合計		160	175	160

講 座		主 な 内 容 等	定 員	応募者数	受講者数
5	目黒学パート 27 その② -古文書や石碑に書かれた文章に近づき、読み解くスキルの一歩を踏み出す-	目黒に関連する史料を読み解き、現在の目黒の姿と過去の資料を結び付け実像を探る。 令和3年9月～令和4年1月（全7回）	40	27	17
6	シンボル・しるし・紋様の世界を探る その②	さまざまなシンボルから、歴史や文化的特徴を学び、アイデンティティー（同一性）を支えてきた奥深い世界を探る。 令和3年9月～令和4年1月（全7回）	40	43	32
7	言葉って、楽しい、そして深く、重い その②	言語学、民俗学、歴史学などの学問的知見を背景に、言葉のもつ楽しさ、深さ、重みにアプローチする。 令和3年9月～令和4年1月（全7回）	40	22	14
8	見て回る 江戸・東京 その②	江戸時代以降の歴史・地理的な事象と背景を学び、現地のフィールドワークにより学習を深める。 令和3年9月～令和4年1月（全7回）	40	67	44
後期合計			160	159	107
合 計			320	334	267